

経営比較分析表（令和6年度決算）

福井県越前町 国保織田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	13	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
19,769	4,216	第2種該当	-	10:1

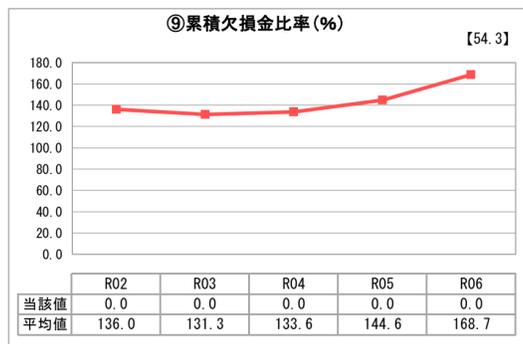
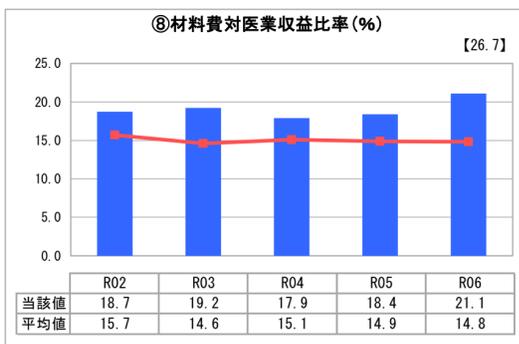
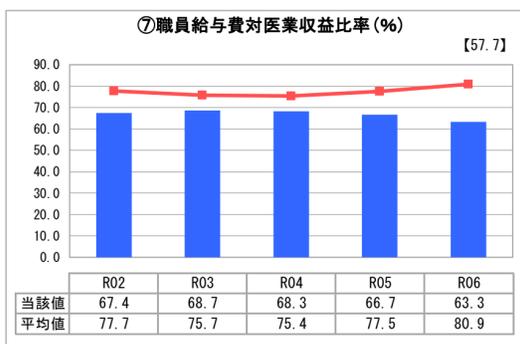
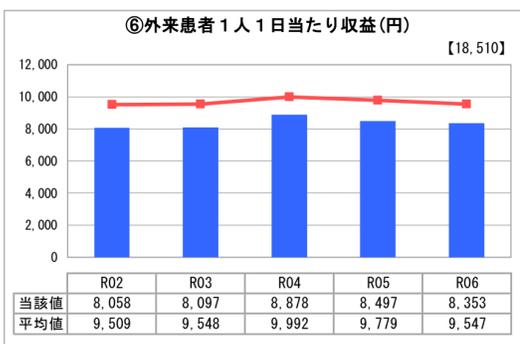
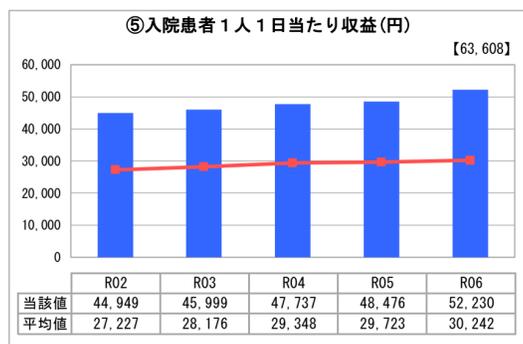
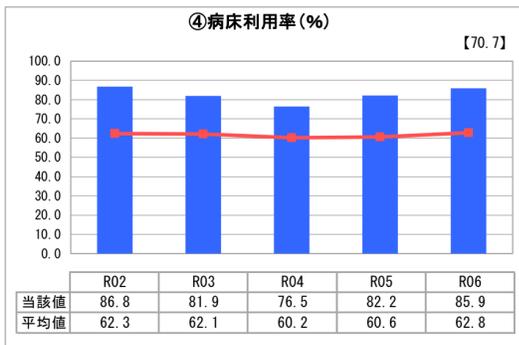
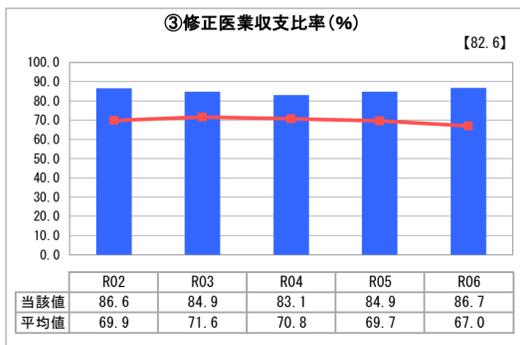
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

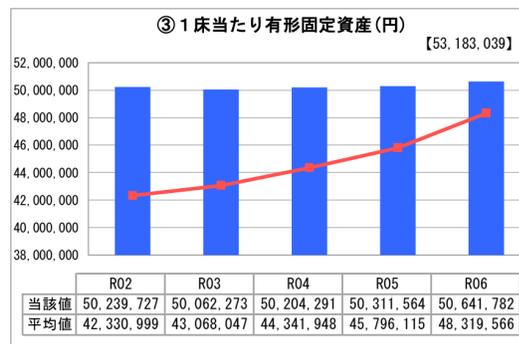
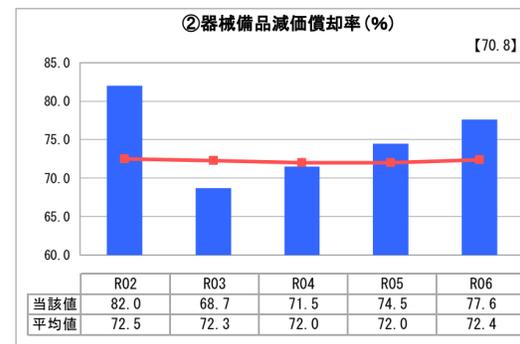
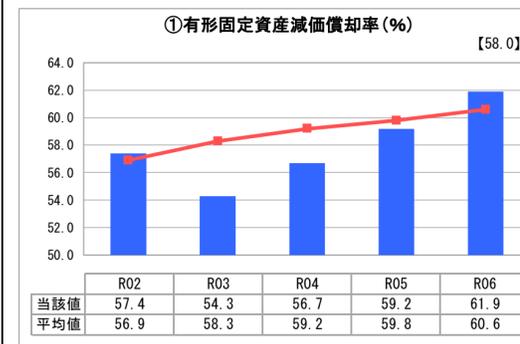
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
55	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	55
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
55	-	55

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



経営強化に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

越前町で唯一の急性期病床を有する病院として、地域の住民に安心・安全な医療を継続的に提供しており、地域医療構想、医療計画に基づいた地域包括ケア病床による回復期の医療機能の一部を担う。また、へき地医療、救急医療、災害時医療など不採算部門における医療の提供も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については健全経営の水準とされる100%を下回り、初の赤字となった。当院のみならず、類似病院の平均値も100%を下回っており、全国的に病院経営は厳しさを増している状況である。

本院では院外の医師を招くなどして手術件数の増加を図っており、それが④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益が平均値を上回っている要因と考えている。全体の割合に対し、軽度の外来や高齢者の通院比率が高いことから⑥外来患者1人1日当たり収益は平均値を下回っている。

⑦職員給与費対医業収益比率は、平均値を下回って推移しており令和6年度においては平均値との差が大きくなっている。⑧材料費対医業収益比率は、平均値を上回って推移している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産及び器械備品の減価償却率は、令和3年度より年々増加しており令和6年度においては平均より上回る結果となった。当院は町内唯一の急性期病院であり、その機能を維持するために高額な医療機器の更新が続いていることが要因と考えている。

1床当たり有形固定資産については、平均値をやや上回っている。これは、類似病院と比べ病床数に対する固定資産への投資が大きいことを示している。今後の施設や医療機器に対する投資の妥当性について、検討する必要がある。

全体総括

当町の病院事業は、平成24年度に指定管理制度の導入して以来、健全で効率的な運営を行っており、令和6年度は赤字となったものの、昨今の病院経営の厳しさを考慮すると概ね良好と考えている。しかし、今後の経営環境はますます厳しさを増すことが予想されることから、町と指定管理者の両者が改めて経営の見直しを行い効率的な病院運営を図り黒字化することが重要であると考えている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。